

教 育 長 様

代表者 校 園 名： 大阪市立長吉小学校 公印
 校 園 長 名： 北川 耕造
 電 話： 6709-2000 F A X： 6799-1104
 申 請 者 校 園 名： 大阪市立長吉小学校
 職 名・名 前： 養護教諭 橋本 宏美
 電 話： 6709-2000 F A X： 6799-1104
 代 表 者 校 園 事 務 職 員 名： 大阪市立長吉小学校 永井 孝明

平成 29 年度 「がんばる先生支援」グループ研究 報告書

◇ 平成 29 年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1 研究コース： いずれかを○で囲んでください。 グループ研究 A コース ・ グループ研究 B コース
継続研究： いずれかを○で囲んでください 継続研究 (2 年目 ・ 3 年目)
2 研究テーマ 養護教諭の専門性を活かした健康教育の研究 一子どもたちが生涯にわたり心身ともに健康で活力のある生活を送るための能力育成をめざして—
◆ 研究内容のキーワード： 研究の内容をキーワードで書いてください。 【例】学力向上、体力向上等 健康の保持増進、健康的な生活習慣の形成、健康に関する現代的課題への対応
3 研究目的： 箇条書きで端的に書いてください。 ○幼稚園・小学校・中学校・高等学校のそれぞれの発達段階に応じた健康教育を推進する。 ○子どもたちが、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るための健康教育を推進する。 ○健康的な生活習慣を形成し、健康を管理する能力を育成する健康教育を推進する。
4 取り組んだ研究内容： いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。 子どもたちが、生涯にわたって心身ともに健康で活力のある生活を送るための能力を身につけることをめざして、学力や体力向上の基盤となる健康の保持増進や健康的な生活習慣の形成について、正しい知識が身につくよう、子どもの発達段階に応じた適切な指導をすすめた。 (1) 地区別・校種別に分かれて共同研究をすすめ、今年度は、12 月に以下のテーマで研究発表を行い、そこから学んだことを各学校園の実態に合わせて、日々の活動や実践につながるように取り組んだ。また、これらの共同研究については、平成 30 年 8 月、尼崎市で開催される近畿養護教諭研究協議会で発表する予定である。 ①浪速区小学校共同研究 「外国からの転入者を含めた 誰もが安心できる保健室をめざして」 ②平野区小学校共同研究 「養護教諭の専門性を生かした学校保健活動 —心因性来室者対応のスキルアップをめざして—」 ③第 4 ブロック中学校共同研究 「中学校で取り組む歯・口の健康づくり」 (2) 9 月に保健室や健康相談の実態、支援のための校内外の連携についての調査を行い、「養護教諭が行う健康相談の充実をめざして—よりよい支援の場としての保健室のあり方を考える—」の研究をすすめた。その成果を 3 月 7 日の定期研修会で発表する。また、その発表を受けて、鳴門教育大学特任教授、森田洋司先生に「学校全体で取り組む子供たちの現代的課題への支援—養護教諭の役割を中心として—」の演題でご講演いただき、養護教諭の専門性の向上を図る。 (3) 全国レベルの健康教育関係の研究大会や研修会に参加し、その研修内容を報告・伝達講習したことで全校園の養護教諭で共有し、研鑽を深めた。 (4) 各校園で日々収集している保健室のデータを毎月、保健月報としてまとめ、情報処理能力を高めるとともに、大阪市全体の集計・分析を行うことにより、子供たちの健康課題を見出し、心と体の健やかな成長への支援につなげる手立てを探った。

5 成果・課題：申請書に記載した検証方法に基づいて取組を分析し、具体的に記載してください。

- ※ 継続研究については、これまでの検証と成果も踏まえて記載してください。
- ※ アンケート調査結果など、数値で示すことのできるものは必ず記載してください。
- ※ 申請書に記載した、「見込まれる成果」に達することができたのかどうか、子どもの様々な力の向上、教員の指導力の向上をふまえ、わかりやすく、具体的に記載してください。
- ※ フォントは10.5ポイント、A4判2ページで作成してください。

- ・日本語指導の必要な子供やその保護者にもわかりやすい教材、資料、文書を作成したり、安心して来室できる対応の工夫を行ったりしたことによって、来日児童だけでなく、支援の必要な児童に対しても活用でき、子供たちの健康な生活への理解が深まった。
- ・様々な健康課題を抱えている子供たちへのよりよい支援のために、様々なスキルアップのための研修会への参加や心の健康に関する保健教育の実践、健康相談等に活用できる教材等の作製、事例検討等を行ったことにより、子供たちの心身の健康の保持増進につなげることができた。
- ・より充実した「歯・口の健康づくり」ができるよう、学校歯科医等と連携した保健指導や保健委員会の発表を中心とした活動などを行ったことにより、歯みがきの習慣化や受診率の向上など、行動変容につながる保健教育を行うことができた。
- ・全養護教諭対象に行った3回の研修会後のアンケート調査では、平均98.8%が充実した研修会であったと回答した。また、「とても勉強になった。今後の実践に生かしていきたい」「興味深い内容でとても参考になった」「具体的な話でとてもわかりやすかった」などの感想が多く、養護教諭としての資質や能力の向上に資するとともに、学校保健活動に生かすことができた。
- ・「養護教諭が行う健康相談の充実をめざして—よりよい支援の場としての保健室のあり方を考える—」についての研究を行うにあたり、全校園の養護教諭を対象に保健室の校園内の位置や広さ、健康相談の実態、支援のための校園内外の連携について調査を行った。その結果、保健室に様々な物理的環境がある中、保健室が誰でもいつでも利用でき、安心して話ができるところになるよう、養護教諭はその特性を生かして、工夫しながら健康相談を行っていることがわかった。来年度は、さらにその工夫点などを取り上げながら、よりよい充実した健康相談をめざしていきたい。また、健康相談の内容は多岐にわたっているため、子供たちが生涯にわたり、心身ともに健康で活力のある生活を送る力を育むためには、さらに知識・技能の習得に努めていく必要がある。保健室登校の子供については、教職員との連携が「よくできている」「まあまあできている」という回答は、合わせて92.7%あったが、その他の校園内外の連携については、「あまり連携ができていない」と感じている養護教諭が少なくないことがわかった。今後、心と体の両面に対応できる養護教諭の専門性を活かし、他の教職員や関係諸機関とも連携したよりよい支援を行えるよう、引き続き研究をすすめ、資質の向上を図りたい。
- ・がんばる先生支援事業（旅費）により、複数の全国大会レベルの研修会に参加することが可能となった。参加した養護教諭により、大阪市養護教員会の研修会内で伝達講習・概況報告を行った。それらを通して得られた知識や情報を共有し、研鑽を深めることができた。
- ・各校園で、日々収集している健康観察の結果や保健室来室者の状況などの保健室データを、毎月、保健月報としてまとめ、健康課題の早期発見に生かすことができている。さらに、大阪市全体の集計・分析も行い、学校保健のまとめや保健教育の資料などにも活用している。

校園全体の養護教諭の資質向上が図れたことと、子どもたちの発達段階に応じた適切な健康教育を効果的に実施する知識や技量を身につけることができた。子どもたちへの健康教育の効果の検証をするうえで、今後の子どもたちの成長や生活の様子などが判断の決め手となる。そのため、本研究は、今後も長期間にわたって取り組みを続ける必要があると考える。

6 研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。

日程 平成29年12月14日
場所：大阪市教育センター
参加者数：約500名

上記の内容を、平成30年2月26日（月）までに、大阪市教育センター「がんばる支援」担当まで提出してください。（研究資料等を添付）